

チャレンジする Someone NEWS

～挑戦者の履歴書

第42回

ルネサンス高校

——自分らしさを、いま試さなければ……

一般社団法人 光楓座 代表理事 佐藤建吉

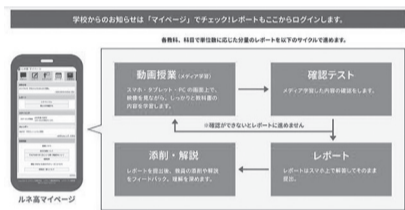
▼教育での変革

日本の経済は低迷し、若者は戸惑いの中にいる者が多い。筆者は以前、国立大学に在職していたが、学生はアルバイトで暮らしていた。そしてこの2年間は、コロナの状況下、登校もままならず、オンライン授業となつて、交友関係も広がらない。こうして、通信制に似た教育が大学でも高校ほかでもふつうに実践され、その教育上のメリットとデメリットを体験した。結果、教育にも変革が生まれつつある。

▼ルネサンス高校

通信制高校は、一般の高等学校の設置と同様に、自治体や学校法人が設置し運営する場合に認められるのがふつうである。しかし東京一極集中などにより、地方では少子高齢化や人口減少、が進行している。教育は、国の未来を担う原動力としての人材育成の要(かなめ)である。そのため地域活性化と連動して内閣府の教育特区制度が設けられた。

【写真2】ルネ高マイページ



指すゴールも異なる多様な生徒に対して教育機会を提供している。この教育指導の方法としては以下の五つが挙げられる。①面接指導、②添削指導、③試験。①は、教師から生徒への対面指導、生徒同士の関わり合いなどを通じて、個々の生徒のもつ学習上の課題を考慮した個人差に応じた指導を実施。②は、生徒が提出するレポートを教師が添削し、生徒に返却することにより指導を実現する。③は、添削指導・面接指導等による指導を踏まえ、個々の生徒の学習状況を評価する。

この三つの指導方法に加え、④「多様なメディアを利用した指導」があり、ラジオ・テレビ放送を主体とし、生徒が自宅等で個別に自学自習することとして、添削指導・面接指導・試験の方法により教育を実施している。また、これらに加え、多様なメディアを利用した指導を行うことができる。冒頭にある「勤労青年」という対象は、今日では範囲が広く制度の制定時に比べ多様となり、また通信制課程の機会を求め、生徒側も多様な学習スタイルを選択している。これには文科省も気が付けており、次のような解説が併記されている。

「近年では、学習時間や時期、方法を自ら選択して自分のペースで学ぶことができる通信教育ならではの長を生かしながら、勤労青年のみならず、スタートラインも目指すゴールも異なる多様な生徒に対して教育機会を提供している。」

関係法令等(抜粋)として以下が挙げられる。①面接指導、②添削指導、③試験。①は、教師から生徒への対面指導、生徒同士の関わり合いなどを通じて、個々の生徒のもつ学習上の課題を考慮した個人差に応じた指導を実施。②は、生徒が提出するレポートを教師が添削し、生徒に返却することにより指導を実現する。③は、添削指導・面接指導等による指導を踏まえ、個々の生徒の学習状況を評価する。

また、「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」というものもある。ルネ高においても、時代にあった教育カリキュラムを逐次改善して導入実施しているようである。通信教育ならではの「教育」にも注力し、実践している。すなわち、コンテンツ制作技術とネットワーク配信技術を活かして教育支援を行うことは得意である。通信制高校の教育の基幹的な添削指導とその評価を、楽しく効率的に行うことができる。ルネ高のインターネットを用いた学習の画面「ルネ高マイページ」と、コンテンツを写真2に示す。

筆者は、千葉大学の特別支援学校で生徒たちの自主性を養う教育手法である「できる状況づくり」に関わったことがある。それは、高校部までしかない特別支援教育で、高校卒業後は自立して生活できるようにとの教育上のモットーでもあったが、「できる環境づくり」ではないことに意義がある【註3】。できる状況づくりは、自主的な学習を体得させることに工夫されている。ルネ高グループは、ルネサンス高等学校が第一校であるがほかにルネサンス豊田高等学校、ルネサンス大阪高等学校と3校ある。同様な教育方針で運営されている。通学スタン

【写真1】ルネサンス高等学校(茨城県大子町)



で、ロンドンのブルネル大学に研究滞在中にいた。OUにも同じ研究テーマの講師がいて、彼の研究室を訪ねた。OUは、ロンドンとバーミンガムの中間のミルトンキーンにある。そこはロンドンの人口集中を緩和するとしてつくられた新構想都市で日本では、つくば市に合致。OUもガス張りの明るい建物として印象がある。OUは当時の、ビデオの放送教材が充実していた。

日本の放送大学は、本家のOUを超え発展を遂げている。放送大学の本部は、千葉市の幕張にあり、千葉大学とは関係が深い。放送大学の設置に当たっては、本コラムでも紹介した文科省官僚だった寺脇氏が、その設置の法整備を担当したという。同氏は、文科省で生涯教育の重要性を獲得し放送大学の設置に注力したという【註1】。

本コラムでは、内閣府の特設制度で株式会社設立した「ルネサンス高等学校」(写真ルネ高)の取組について紹介する。その内容や現状などについて、設置会社の本

通信制高校は、一般の高等学校の設置と同様に、自治体や学校法人が設置し運営する場合に認められるのがふつうである。しかし東京一極集中などにより、地方では少子高齢化や人口減少、が進行している。教育は、国の未来を担う原動力としての人材育成の要(かなめ)である。そのため地域活性化と連動して内閣府の教育特区制度が設けられた。

「近年では、学習時間や時期、方法を自ら選択して自分のペースで学ぶことができる通信教育ならではの長を生かしながら、勤労青年のみならず、スタートラインも目指すゴールも異なる多様な生徒に対して教育機会を提供している。」

関係法令等(抜粋)として以下が挙げられる。①面接指導、②添削指導、③試験。①は、教師から生徒への対面指導、生徒同士の関わり合いなどを通じて、個々の生徒のもつ学習上の課題を考慮した個人差に応じた指導を実施。②は、生徒が提出するレポートを教師が添削し、生徒に返却することにより指導を実現する。③は、添削指導・面接指導等による指導を踏まえ、個々の生徒の学習状況を評価する。

また、「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」というものもある。ルネ高においても、時代にあった教育カリキュラムを逐次改善して導入実施しているようである。通信教育ならではの「教育」にも注力し、実践している。すなわち、コンテンツ制作技術とネットワーク配信技術を活かして教育支援を行うことは得意である。通信制高校の教育の基幹的な添削指導とその評価を、楽しく効率的に行うことができる。ルネ高のインターネットを用いた学習の画面「ルネ高マイページ」と、コンテンツを写真2に示す。

筆者は、千葉大学の特別支援学校で生徒たちの自主性を養う教育手法である「できる状況づくり」に関わったことがある。それは、高校部までしかない特別支援教育で、高校卒業後は自立して生活できるようにとの教育上のモットーでもあったが、「できる環境づくり」ではないことに意義がある【註3】。できる状況づくりは、自主的な学習を体得させることに工夫されている。ルネ高グループは、ルネサンス高等学校が第一校であるがほかにルネサンス豊田高等学校、ルネサンス大阪高等学校と3校ある。同様な教育方針で運営されている。通学スタン

験も用意されている。ダブルスクールコースは、高校の学習以外に将来の職業や進学などを同時に行うことを支援する提携校が連携されている。また大学進学をサポートする仕組みとともに指定校推薦枠もあるという。筆者の関心

通信制高校の設置規定

通信制高校は、文科省の規定によれば次のようである。

「高等学校通信制課程は、勤労青年に高等学校教育の機会を提供するものとして戦後に制度化され、教室授業を中心とす

る。これには文科省も気が付けており、次のような解説が併記されている。

「近年では、学習時間や時期、方法を自ら選択して自分のペースで学ぶことができる通信教育ならではの長を生かしながら、勤労青年のみならず、スタートラインも目指すゴールも異なる多様な生徒に対して教育機会を提供している。」

関係法令等(抜粋)として以下が挙げられる。①面接指導、②添削指導、③試験。①は、教師から生徒への対面指導、生徒同士の関わり合いなどを通じて、個々の生徒のもつ学習上の課題を考慮した個人差に応じた指導を実施。②は、生徒が提出するレポートを教師が添削し、生徒に返却することにより指導を実現する。③は、添削指導・面接指導等による指導を踏まえ、個々の生徒の学習状況を評価する。

また、「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」というものもある。ルネ高においても、時代にあった教育カリキュラムを逐次改善して導入実施しているようである。通信教育ならではの「教育」にも注力し、実践している。すなわち、コンテンツ制作技術とネットワーク配信技術を活かして教育支援を行うことは得意である。通信制高校の教育の基幹的な添削指導とその評価を、楽しく効率的に行うことができる。ルネ高のインターネットを用いた学習の画面「ルネ高マイページ」と、コンテンツを写真2に示す。

筆者は、千葉大学の特別支援学校で生徒たちの自主性を養う教育手法である「できる状況づくり」に関わったことがある。それは、高校部までしかない特別支援教育で、高校卒業後は自立して生活できるようにとの教育上のモットーでもあったが、「できる環境づくり」ではないことに意義がある【註3】。できる状況づくりは、自主的な学習を体得させることに工夫されている。ルネ高グループは、ルネサンス高等学校が第一校であるがほかにルネサンス豊田高等学校、ルネサンス大阪高等学校と3校ある。同様な教育方針で運営されている。通学スタン

験も用意されている。ダブルスクールコースは、高校の学習以外に将来の職業や進学などを同時に行うことを支援する提携校が連携されている。また大学進学をサポートする仕組みとともに指定校推薦枠もあるという。筆者の関心

「ルネ高マイページ」は、ルネ高のインターネットを用いた学習の画面。写真2に示す。

【註1】寺脇研、第19号10面(2021年11月8日)(月)発行) http://www.kofuza.com/images/en_2021_20.pdf 【註2】ルネサンス高校グループ、<https://www.kpfop.com/> 【註3】佐藤建吉、環境と状況の違い、そして「できる状況づくり」 http://www.kofuza.com/images/IMG_20210715_0001.pdf

連載

ルネ高での教育

「通信制高校に関する



【写真3】ネット学習

ルネ高グループは、ルネサンス高等学校が第一校であるがほかにルネサンス豊田高等学校、ルネサンス大阪高等学校と3校ある。同様な教育方針で運営されている。通学スタン